

平成30年度

第5回加賀市地域公共交通会議

議事録

日時 平成31年2月22日(金)
午後1時30分～午後2時45分
場所 加賀市市民会館 第2会議室

平成 30 年度 第 5 回加賀市地域公共交通会議

日 時 平成 31 年 2 月 22 日 (金)
午後 1 時 30 分～午後 2 時 45 分
場 所 加賀市市民会館 第 2 会議室

1 開会

事務局

本日は、お忙しい中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。それでは、平成 30 年度第 5 回加賀市地域公共交通会議を開催いたします。

2 会議成立報告

事務局

まず始めに、会議の成立報告を申し上げます。

本日の会議の出欠状況につきましては、1 名の委員が欠席であります。過半数に達する出席となっておりますので、加賀市地域公共交通会議設置要綱第 7 条第 3 項に基づき、本日の会議は成立していることをご報告いたします。

この後の進行につきましては、近藤会長にお願いしたいと思います。それでは、近藤会長、よろしく願いいたします。

3 報告

会長

本日は、お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

それでは、まず、報告の「地域公共交通の利用状況について」です。

事務局から説明してください。

事務局

まず、加賀温泉バスが運行する路線バスについてです。「吉崎線」以外の路線については、昨年度と比べ利用が増加しています。「吉崎線」は、昨年度比 74.2%と著しく減少しています。昨年度は、一昨年度比 122.0%と大幅に増加しましたが、今年度は、その反動のようなかたちで減少しました。今年度から、黒瀬町と保賀町に乗り入れをしていますが、利用はあまり多くないと伺っています。乗り入れにより、運行時間が延びたことも減少要因の一つかと思います。5 路線全体では、昨年度比 100.5%と微増しています。

続いて、「キャンバス片山津・橋立循環線」についてです。昨年 10 月に湖北地区に乗り入れをし、湖北地区内に停留所を 3 か所設置しました。朝・夕・夜便ともに昨年度と比べ増加しています。特に夕便は、昨年度と比べ倍以上増加しています。全体では、昨年度比 145.9%となっています。大聖寺高校及び大聖寺実業高校への通学手段として、機能していると思います。

続いて、乗合タクシーについてです。エリア①とエリア③は、昨年度比 128%ほどですが、エリア②は、昨年度比 66.5%となっています。減少要因としては、昨年度、高頻度で利用していた方が、今年度は、利用しなくなったのではないかと考えています。3 エリア合計では、昨年度比 115.3%

となっています。

会長

委員の皆さまからのご質問、ご意見などはございますか。

縦軸に1ヶ月の平均利用者数、横軸に昨年度比を書いた「利用実績マップ」のような表を作成すると、何か見えてくるものもあるのではないかと思います。

利用者が大幅に増加すると、その後、大幅に減少することについては、何か要因はありますか？利用者や利用者構造に変化があったのですか？

事務局

「吉崎線」については、錦城中学校への通学手段として利用されていますが、少子化の影響により、利用が減少傾向にあるかと思えます。また、一部の便が黒瀬町と保賀町を経由することとなり加賀温泉駅までの乗車時間が若干延びたため、不便になったと感じている利用者もいるかと思えます。引き続き、事業者と協議をしながら原因を究明したいと思えます。

乗合タクシーについては、先ほどの説明どおり、高頻度で利用していた方が利用しなくなったのではないかと考えています。こちら事業者との協議の中で原因を究明していきたいと思えます。

会長

キャンバスの利用促進策については効果が出ていると思えますが、これは利用者のニーズを把握していたからですか？

委員

大聖寺実業高校にバス停を設置したことが一番効果的だったと思えます。また、定期券の価格が非常に安いことも利用が増加している要因かと思えます。

4 議事

【議事(1) 加賀温泉バスの運行内容の見直し(案)について】

会長

それでは、議事に入りたいと思えます。1番目の議事は、「加賀温泉バスの運行内容の見直し(案)について」です。

説明は、加賀温泉バスよりお願いします。

委員

「加賀温泉バスの運行内容の見直し(案)について」です。「温泉大聖寺線」は、作見、松が丘を経由し、加賀温泉駅とかが交流プラザさくら間を運行しています。全日運行、同一ダイヤとし、1日7往復14便を運行しています。利用状況については、平日3人、土日祝日は2人ほどと極めて低迷している状況です。そのため、4月からは、1日5往復10便体制に調整したいと考えています。

全国的に、地方バス会社の乗務員不足が深刻化しています。当社としても会社存続のため、効

率的な運行と積極的な採用活動により乗務員確保を図ってきました。また、北陸鉄道グループの中でも、比較的規模が大きい北陸鉄道及び金沢バスに対して乗務員の転籍、派遣を要請しています。しかし規模が大きい会社ほど乗務員の欠員数が多くなっている状況です。グループ内の能登地区のバス会社では、このような理由から、昨年度は5路線を廃止し、バス会社としての生き残りを図っているところです。

また、今年4月から働き方改革の関連法が本格的に実施されるにあたり、改正労働基準法では、時間外労働が制限されるため、現要員での運用が厳しくなります。ついては、ダイヤを調整し、乗務員の負担軽減、法改正適応への準備を進めたいと思います。

本路線は補助金をいただいているため、ダイヤ調整による経営への悪影響も予想されますが、ご理解をお願いします。

会長

今までは、利用者数と事業の採算性をもとに、ダイヤを調整してきましたが、今回は、乗務員不足という新たな課題が出てきたとのことでした。

委員の皆さまからのご質問、ご意見などはございますか。

委員

当社も、働き方改革への適応が必要となってきます。法律を遵守しなければならないということをご理解いただき、ご配慮いただければと思います。

会長

タクシーやトラック業界も同じような状況ではないかと思います。

もし、議案どおりダイヤを調整した場合、利用者数にはどの程度影響があると考えていますか？

委員

元々、利用者数が少ない路線であり、また、特に利用が少ない時間帯を調整したため、若干の減少はあるかもしれませんが、なるべく不便がないよう調整しました。

会長

それでは、「加賀温泉バスの運行内容の見直し（案）について」は、これで承認することよろしいですか。

特に異議はないようですので承認することとします。

働き方改革への適応や、乗務員確保の課題については、今後も継続的に出てくることが予想されます。事業者間の連携や、医療機関や介護施設との連携が長期的には必要になってくるかと思っています。

【議事(2) キャンバスの運行内容の見直し（案）について】

会長

続いて、議事の2番目、「キャンバスの運行内容の見直し（案）について」です。

それでは、まちづくり加賀から説明してください。

委員

「キャンパスの運行内容の見直し（案）について」です。まず、「柴山」バス停の移設についてです。昨年10月に新設した「柴山」バス停について、地元から「約半年間利用してみたが、現在のバス停は集落の端であるため、次図のとおり、町の中心部近くに移設して欲しい。」との要望が出ています。ついでに、利用者の利便性を向上させるため、「柴山」バス停を移設したいと思います。現在のバス停は、自転車置き場があることもあり旧バス停があった場所を使用しています。しかし、町の中心から離れており、利用者に不便をきたしているため、市関係者、地元関係者からの要望を受け、4月からは400mほど先に移設したいと思います。

事務局

続いて、定期券の販売価格の調整についてです。「キャンパス片山津・橋立循環線」の定期券は、1ヶ月4,000円で販売されています。この価格については、昨年度第3回会議で、他の路線バスの半額程度である6,000円を目途に調整していくことで承認をいただいています。予定としては、参考1にあるように、2020年度を目途に段階的に調整したいと考えており、来年度の価格は5,000円にしたいと思います。参考2については、1回乗車の運賃がほぼ同額の他の路線バスとの比較です。「キャンパス片山津・橋立循環線」の定期券の価格は、加賀温泉バスと比べると35%ほどとなっています。しかし、便数については半分程度なので、定期券の価格も半分程度の6,000円を上限にさせていただきました。

続いて、3ヶ月定期券の導入についてです。現在、定期券の種類は、1ヶ月定期券のみであるため、利用者からは、「毎月、定期券を購入するためだけに、まちづくり加賀事務所（JR加賀温泉駅前）へ行くのは負担である。」との意見が出ています。通学利用がほとんどであり、学期ごとの利用が多いため、3ヶ月定期券を導入したいと考えています。また、販売価格については、少し割引をして14,000円にしたいと思います。

委員

続いて、ダイヤ変更についてです。利用者の増加に伴い、利用者がバスの乗降にかかる時間が拡大しており、現行ダイヤでの運行が難しくなっています。このため、各バス停間の運行にかかる所要時間を見直したいと思います。なお、朝便の各高校への到着時間と夕便及び夜便の各高校の出発時間に変更はありません。

また、小松空港を発着する航空機とJRのダイヤが改正されます。これにあわせて、「山まわり線」、「海まわり線」、「小松空港線」のダイヤを変更したいと思います。加賀温泉駅が仮駅舎ということもあり、高齢者がホームへ出るまでに時間を要するため、ダイヤを調整して利用者の利便性を向上させたいと思います。

会長

委員の皆さまからのご質問、ご意見などはございますか。

委員

「柴山」バス停の移設についてです。国として、乗降時の安全について、最も配慮をいただきたいと思います。警察や関係者と調整したうえで進めていただければと思います。

委員

バス停の移設先は、直線道路であり、また、坂道を上がった平坦なところです。運行事業者と現場確認もしています。指摘の点については、遵守します。

会長

それでは、「キャンパスの運行内容の見直し（案）について」は、これで承認することよろしいですか。

特に異議はないようですので承認することとします。

【議事(3) 乗合タクシーの運行内容の見直し（案）について】

会長

続きまして、議事の3番目、「乗合タクシーの運行内容の見直し（案）について」です。

それでは、事務局から説明してください。

事務局

「乗合タクシーの運行内容の見直し（案）について」です。まず、共通エリアの変更についてです。ヤマキシ新加賀店開店の際に、乗合タクシーでの利用を見込んでいましたが、今年度の利用は極めて少なく、また、国道8号線の2車線化が完了していないため、渋滞に巻き込まれ、ダイヤに遅れが生じる事例も発生しています。このため、小松市側の国道8号線における共通エリアは加茂交差点までにしたいと思います。また、加賀温泉駅周辺の福井県側の共通エリアには、利用者の行き先として多い、こころの病院を加えたいと思います。

続いて、加賀市医療センターでの乗車についてです。現在、乗合タクシーの予約締切時間は、始発時間の1時間前までとなっています。診察の終了時間が予め分からない通院時の利用においては、帰り便の予約が難しいため、乗合タクシーの待機場となっている加賀市医療センターに限り、平日のみ、空席がある場合は、直接、駐車場待機しているジャンボタクシーに乗車できることとしたいと思います。

続いて、ダイヤ変更についてです。市、運行事業者、乗合タクシー利用者との意見交換会である「のりあい号利用者の会」で、複数の利用者から「加賀温泉駅15時発の便について、診察後に買い物をして利用しようとする15時発では早い。出発時間をもう少し遅くしてほしい。」との意見が出ました。については、全エリアにおいて、平日の加賀温泉駅15時発の便を15時40分発に変更したいと思います。

また、一部の区間でダイヤ通りの運行ができていないため、適切な所要時間を見直し、ダイヤを変更したいと思います。

続いて、高齢者の運転免許証自主返納支援についてです。現在、運転免許証を自主返納した高齢者に乗合タクシーのお試し乗車券を2枚配布しています。近年、増加している高齢者ドライバーの事故を未然に防ぐために運転免許証の自主返納を促進し、また、乗合タクシーの利用促進に繋げるため、このお試し乗車券の配布枚数を12枚に拡大したいと思います。

会長

委員の皆さまからのご質問、ご意見などはございますか。

共通エリアについて、今後も変更の可能性はありますか？

事務局

共通エリアについては、毎年見直しを行っています。ヤマキシ新加賀店開店時に、どのエリアからでも乗合タクシーで行けるようにして欲しいとの要望が多数の利用者からありました。これに対応するため、本来の共通エリアからは離れた場所でしたが、運行事業者の協力を得て、共通エリアに加えしました。しかし、実際に運行をしてみると、ほとんど利用がない状況です。郊外型の店舗であるため、大量買いをする方がほとんどなのかと思います。これからも予想と実態が食い違ってることが多々出てくると思います。年度単位にはなりますが、適宜、見直しをしていきたいと思っています。

委員代理

買い物をして帰りたいとの声も多数あるとのことですが、加賀温泉駅からの乗車も予約不要とできないのですか？

事務局

加賀市医療センター開院の際に、正面入り口付近に乗合タクシーの待機場を設けました。運行事業者である加賀第一交通の営業所が山代温泉にあり、運行の度に営業所まで戻るのは効率が悪いため、加賀市医療センターに待機場を設けました。この待機場で待機している乗合タクシーに限り予約をしなくても乗車できるようにしたいと思っています。加賀温泉駅前については、通常のタクシーや路線バスの待機場はありますが、乗合タクシーの待機場はないため、駅前整備にあわせて検討課題とさせていただければと思います。現状では、難しいかと思っています。

委員

「のりあい号利用者の会」はいつ頃開催しましたか？

事務局

毎年、11月頃に開催しています。

委員

15時発の場合、最終目的地には16時頃に到着し、外はまだ明るいと思いますが、出発を40分遅らせると、最後の方が降車する頃には、外が暗くなっていると思います。その点が気になりました。しかし、意見を聞かれたのが、11月であれば、すでに日が短くなっている時期なので、問題はないかと思っています。

会長

運行事業者から何かご意見はございますか？

委員

昨年度、最終便は15時半発で運行していましたが、利用が少なかったため、今年度は、30分

出発時間を繰り上げました。しかし、15時発では早いとの意見をいただいたので、以前の時間に戻したいと思います。

会長

「のりあい号利用者の会」はどのようなメンバーで開催しましたか？

事務局

エリア毎に高頻度で利用されている方3名ほどに出席いただきました。乗合タクシーの不便な点や改善点を挙げていただき、運用改善に活かすことを目的としています。また、インターネット上で乗車予約ができるシステムの導入を予定しているので、スマートフォンの所持状況等も確認しました。

委員

お試し乗車券の有効期限を半年間とした理由はありますか？

事務局

12枚券なので、往復では6回利用することができます。まずは、月に1回利用していただきたいと思い、有効期限を半年間としました。また、枚数については、通常の乗車券が最大12枚綴りなので、これと合わせました。

会長

加賀市の高齢者の運転免許証自主返納はどのような状況ですか？

委員代理

石川県全体と比較すると、多少、少ないですが、ほぼ平均かと思います。年間では、約240人が自主返納をしており、増加傾向にあります。

会長

公共交通の運転手に集まってもらい意見を聞く場を設ける予定はありますか？

事務局

ハイタク連合会の執行委員長には、地域公共交通会議の委員になっていただいております。また、加賀温泉バスは、組合協議を重視していると伺っています。運転手の意見が、本市の公共交通の運営に反映されていることも多いかと思います。利用者の会のように運転手に集まっていただくことは、時間的にも厳しいかと思いますが、各委員を通じて意見等を吸収できればと思います。

会長

それでは、「乗合タクシーの運行内容の見直し（案）について」は、これで承認することよろしいですか。特に異議はないようですので承認することとします。

5 その他

会長

その他、事務局より何かありますでしょうか。

事務局

来年度中に、乗合タクシーへ予約・配車システムを導入したいと考えています。詳細等は、今後、運行事業者と協議していきたいと考えていますが、本日は、導入予定のシステムの概要を説明させていただきたいと思います。

まず、オペレーターアプリについてです。現在、予約はオペレーターが電話で受け付けて、それを紙ベースで管理し、その内容をドライバーに伝え、ドライバーが運行経路を組み立てています。そのため、予約の締切時間を便の始発時間の1時間前に設定しています。このアプリを使用すると、予約内容を入力するだけで効率的な運行経路が作成され、自動でドライバーにその内容が発信されるため、ドライバーへの連絡に要していた時間を削減できるとともに、予約締切時間の短縮が可能となります。

続いて、インターネット予約アプリについてです。このアプリにより、インターネット上からの乗車予約が可能となります。最寄りの乗り場の自動検索機能や過去の乗降場所の履歴からの行き先の選択等、利用者の利便性が考慮された予約が可能となります。現在は、インターネット上から予約ができる利用者は少ないと思いますので、オペレーターが電話で受け付けた内容をパソコンで入力することになると思います。しかし、このシステムを導入することで、新たな需要を創出したいと思います。

会長

委員の皆さまからのご質問、ご意見などはございますか。

委員

エリア②は運行当初より利用が少ないですが、このような地域では、新たな利用者がなかなかでできません。新規の利用者を増やすことが大事だと思います。

この前の利用者の会では、利用者が乗合タクシーに対する不満点等を互いに解消し合っていました。このような場を設ける必要性を感じました。不満を持っていると、その不満を周りに言ってしまう、利用者を増やす障害となってしまいます。

利用者の増減に一喜一憂せず、加賀市医療センター開業後に、この制度がどう変化したのかを基準に考えていただければと思います。そうすることで、乗合タクシーの浸透具合が見えてくると思います。

予約・配車システムを導入し、予約締切時間の短縮を図っていただきたいと思います。ただ、スマートフォンを使う利用者が出てくるまでには、時間がかかると思います。

乗合タクシーの利用者は高齢者が多いので、それを念頭に置き、運用を考えて欲しいと思います。若い方は自家用車を運転するので、利用していない高齢者に利用を周知するのが良いと思います。

委員

来年度から、緑丘小学校が錦城小学校に統合されます。緑丘小学校の児童はスクールバスで登下校することになります。かが交流プラザさくらが乗降場となりますが、路線バスのバス停にもなっているので、子どもたちに気を付けて運行していただくと有難いと思います。

会長

それでは、事務局に進行を戻します。

6 閉会

事務局

ご審議ありがとうございました。本日の会議はこれをもって終了いたします。